令和５年３月16日版

琉球王国交流史デジタルアーカイブ

公開テキストデータの作成凡例

本凡例は、「琉球王国交流史デジタルアーカイブ」の「交流史料書庫」において公開される「交流史料テキストデータ」を対象とするテキストデータの作成、表記方法について示す。

1　テキストデータは検索に用いることを主目的とし、検索性を高めるため書式なしのテキスト入力とし、テキスト化対象の資料・論文の体裁をできるだけ再現するよう努める。

2　書式なしのテキスト入力によるデータ化にあたり、以下の編集方法をとる。

（1）筑登之、里之子、親雲上などの略字表記（「筑」「里」「親」）は使用せず、筑登之、里之子、親雲上とする。

（2）踊り字「〻」は「々」、繰り返し記号「〱」は「／＼」とする。

（3）合わせ字「𠬝」は「より」、「〆」は「シテ」、「㆑」は「コト」とする。

（4）助字や「并」、一ヵ月、一ヶ月などの「ヵ」「ヶ」は小文字にはせず「カ」「ケ」とする。

（5）不明文字数は「□」で示し、文字数が判明せず長四角による表記などは「□…□」とする。

（6）見え消しや強調点など、書式なしのテキスト入力で再現できない表記は割愛する。

（7）検索の利便性を高めるため、「目　　録」などの空格を詰めて入力し「目録」などとする。

3　端書きや年号の干支、人名の肩書き、割書などの小文字や押印の印字などは「〈　〉」を用いて示し、明らかに割書とわかる場合のみ「〈　／　〉」（例：〈一号船／二号船〉）など「／」を用いて改行位置を示す。

4　朱書きで表記された文字は「「　　」」で示す。

5　行間にある活字化時の編著者による誤字の訂正や欠字の補いは、テキスト化対象の資料・論文の体裁に基づき「(　)」で示し本文内に挿入する。なお、本文内に挿入する際の小文字を示す編集記号（凡例３による「〈　〉」）は、表記上煩瑣となるため割愛する。

（密）　　（～カ）

例：蜜談　→　蜜（密）談　　□　　→　□（～カ）

6　本文の文字に対する修正指示などの間書は「(＊～)」で示し本文内に挿入する。なお、本文内に挿入する際の小文字を示す編集記号（凡例３による「〈　〉」）は、表記上煩瑣となるため割愛する。

「得」「候」

例：海防官江〇差図之上、　→　海防官江〇（＊「得」）差図（＊「候」）之上、

7　書式なしのテキスト入力で再現できない図表などは原則割愛する。